

ネイティブ・サーモコッカス・チオレダクテンス 無機ピロリン酸加水分解酵素

Cat. No. NATE-1255

Lot. No. (See product label)

はじめに

説明 ピロリン酸加水分解酵素（または無機ピロリン酸加水分解酵素）は、1分子のピロリン酸を2つのリン酸イオンに交換する反応を触媒する酵素（EC 3.6.1.1）です。これは非常にエネルギー放出反応であり、したがって、これらの交換を完了させるために好ましくない生化学的交換に結びつけることができます。この酵素の機能は、脂質代謝（脂質の合成と分解を含む）、カルシウムの吸収と骨の形成、DNA合成、さらには他の生化学的交換において重要な役割を果たします。

別名 ピロリン酸ホスホヒドラーゼ; 無機ピロリン酸加水分解酵素; EC 3.6.1.1; 9024-82-2; iphosphateホスホヒドラーゼ

製品情報

由来 サーマコッカス・チオレデユセンス

形態 凍結乾燥粉末

CAS登録番号 9024-82-2

分子量 20.9 kDa

純度 ~ 90% (SDS PAGE)

等電点 4.76

熱安定性 25°C - 80°C

単位定義 1ユニットは、無機ピロリン酸から1分間に1μmolのリン酸を生成する酵素の量です。

保管・発送情報

保存方法 -20°Cで